

ラコゼット パフュメ 第11回 『資生堂フレグランス 100年の軌跡』

日時：2018年3月25日（日）14:00 - 16:00 会場：国際文化会館（六本木）

参加費：一般 - 5,000円 会員 - 3,000円

（セルフティー&ミニスイーツ付き）

ラコゼ（＝ラ コゼット パフュメ）vol.11 は、株式会社資生堂 化粧品開発センター香料開発グループ
シニア パフューマーの森下 薫（もりした かおる）氏をお迎えします。

1872年から時代の美を創造し続けて来た資生堂には、日本の女性として自信を持って纏うことができる香水が数多くあります。

歴史、文化を通して変わりゆく理想の女性像と、その反射像としての香水の魅力。

そして日本から世界へと提案する香りの創作について、製品開発の現場からお話をお聞かせ頂きます。



森下 薫 様 Kaoru MORISHITA

株式会社資生堂 化粧品開発センター 香料開発グループ シニア パフューマー

1996年からフランス、ドイツ、スイス、オランダ、イギリスと、欧州を中心に調香の研修後、
製品の香料開発に従事。現在までに、フレグランス・スキンケア・ヘアケア・メーキャップなど、
あらゆる製品の香り創りを経験。

代表フレグランス：『スピリットオブアユーラ』 『マジョリカマジョルカアロマジカ』 『We're』

『東京スカイツリーフレグランス』 『ローズシナクティフ』

スキンケアの香りとして『クレドポーボーテ/シネルジック』 『エリクシール』

デオドラントの香りとして『シーブリーズ』 『AG +』

ヘアケアの香りとして『マシェリ』 『TSUBAKI』

また、香りの強さを客観的に評価する「臭気判定士」の資格を所有。

